

## 農業再チャレンジ支援事業（新規）

【平成19年度概算決定額：641,452（ 0）千円】

### 対策のポイント

団塊世代、若者等が経験がなくても農業に就けるよう、情報提供・相談段階、体験・研修段階、参入準備段階、定着段階の各段階に対応した、きめ細かな支援を実施します。

（現状）

- ・ 2007年から団塊世代(680万人)が大量に定年退職を迎えますが、大半の方が定年後も働く意欲を持っています。
- ・ 多くの若者が働く目的を確立しないまま早期に離職する「7・5・3」問題（3年以内の離職率が中卒者7割、高卒者5割、大卒者3割）が発生しています。
- ・ 女性のライフステージに応じた就業機会の拡大が課題となっています。

### 政策目標

【60歳以上の離職就農者数を5割増】

4.2万人（15年度） 6万人（23年度）

【新規就農者数(39歳以下)】

毎年12千人程度

### < 内容 >

#### 1. 情報提供・相談段階

就職支援機関やインターネット等を介し、各自治体の支援措置、各種研修・求人等の情報を提供するとともに、農業法人合同会社説明会等における個別相談を実施します。

また、NPO法人、公社等による新たな就農課題に対応した地域における取組を支援します。

#### 2. 体験・研修段階

原体験としての小中学生の農業体験学習を充実するとともに、農業法人での学生・社会人向けインターンシップを実施します。

先進経営体における実践的職場内研修（OJT）、フリーター等若者を対象とした雇用就農促進のための研修、団塊世代等を対象とした就農準備校や市民農園に出向く研修を実施します。

#### 3. 参入準備段階

若者・女性、団塊世代の円滑な雇用就農を推進するため、無料職業紹介、紹介予定派遣を実施するほか、農業知識等の能力評価制度による試験を段階的に実施します。

#### 4. 定着段階

女性グループ、NPO法人等による、就農後の定着を促すための地域におけるモデル的な起業活動や起業支援活動等を支援します。

【補助率：定額、1 / 3】

< 事業実施主体 > 民間団体

< 事業実施期間 > 平成19年度から平成23年度

[担当課：経営局 普及・女性課(03 - 3502 - 6469(直))]

# 経験ゼロから始めても農業に就ける 各段階に対応したきめ細やかな支援

農業再チャレンジ支援事業  
その他

